



倉敷市市民企画提案事業について

答 申

平成23年3月22日

倉敷市市民企画提案事業審議会

## II 平成22年度実施事業の評価および継続審査について

### 【選考過程】

事前に配布された、事業報告書、収支精算書、協働事業評価書等を基に、はばたきコース、協働事業部門については、2月19日に開催された事業実施報告会において、提案団体による事業実績や収支決算に関する説明と、担当課による意見発表（協働事業部門のみ）、審議会委員による質疑応答を行った。

さらに、協働事業のうち、次年度への継続を希望する事業については、継続することの有効性、事業内容の発展性、費用負担の適正性について審査した。

めばえコースについては公開での報告会を行わず、事業報告書、収支精算書に基づいて2月19日に開催された審議会で審査を行った。

### 【評価基準】

公平性を確保するため、提案事業の関係者となる委員は該当する部門の審査を外れることとし、各委員ごとに採点を行うこととした。提案事業ごとに各委員100点を持ち点とし、全委員の得点の平均点を評価点とした。

継続提案事業の採択基準は、評価点が60点以上、継続審査点が24点以上の両方を満たすものとした。

【審査基準】 <評価項目および配点（100点満点）>

### 市民企画提案事業評価基準(100点)

審査項目	審査のポイント	コース・部門		
		めばえ	はばたき	協働
① 目的 (公益性・重要性)	1 事業の目的が達成されているか	○	○	○
	2 不特定多数のもの利益の増進に寄与するなど公益性の高い事業となったか	△	○	○
	3 課題の解決に結びついたか、またはそのきっかけとなったか	△	○	○
	配点	25	25	20
② 事業内容 (計画性)	4 事業計画どおり実施されたか(イベントなどの時期・回数)	○	○	○
	5 計画通りの参加があったか、または工夫があったか	○	○	○
	6 実施にあたり、十分な準備期間・手段が取られていたか	△	○	○
	7 市民や参加者の理解を得られたか	△	○	○
配点	25	25	20	
③ 費用対効果	8 経費に見合う効果があったか	○	○	○
	9 過不足のない収支であったか	○	○	○
	10 受益者負担を求めるなどの工夫があったか	△	○	○
配点	25	20	20	
④ 人材配置	11 計画を遂行する技能・能力(人的資源)があったか	△	○	○
	12 他の団体と協働するなどの工夫があったか	△	○	○
	13 熱意を持って事業に取り組んだか	△	○	○
配点	△	10	10	
⑤ 協働性	14 行政も事業の意義を理解し、目的を共有して事業を実施したか	△	△	○
	15 協働することで相乗効果があったか	△	△	○
	16 提案団体と市の役割分担は明確かつ妥当なものであったか	△	△	○
配点	△	△	20	
⑥ 独自性 ・将来性	17 先進的・先駆的な事業内容であったか	○	○	○
	18 発展性・普及性がある事業内容であったか	○	○	○
	20 事業を通じて団体が成長したか	○	○	△
配点	25	20	10	

### 市民企画提案事業継続審査基準(40点)

審査項目		配点
A 継続の有効性	継続することにより、前年以上の効果が見込めるか 提案団体と担当課の双方が、事業継続の効果が高いことを見込んでいるか	20
B 事業内容の発展性	22年度の事業実施結果を基に、事業内容のステップアップ等を行い、事業の発展性が見込まれるか	10
C 費用負担の適正	予算配分は適切であるか 経費節減を図り、無駄のない予算となっているか 自己資金の調達は担保されているか	10

## 【部門別講評】

### 1) 創業期活動部門（めばえコース）

創業期活動を支援するためのめばえコースの活動では、市民目線からの素朴な活動企画や、さらなる活動へと継続の兆しが見られるものもあり、今後の活動へと期待される場所である。団体ごとに様々でユニークな発想があり、市民企画提案事業としては、団体の参加件数や事業の方向性として、量質ともに充実している。自主自立した市民公益活動として、多様な展開の礎となり、適正に補助金を活用することで住みよいまちづくりへの貢献となっている。

### 2) 公益的自主事業部門（はばたきコース）

公益的な自主事業を支援するためのはばたきコースの活動は、どの団体も活気があり、チームワークよく、仲間の力があり、よくまとまっていた。それが地域の人や周囲に力を与えていると感じられた。また、中心となる企画発案者が元気で明るく活動の発信を行うことでさらに活動が広がっていると考えられる。今後さらに、地に付いた活動へと飛躍されることを期待する。

活動の継続性という観点から、中心となるリーダーの継承など、指導者または主となる活動者のバトンタッチも念頭に進めていく必要がある。活動を上手に展開できている団体では、地域や他団体との連携を密にするなど独自の工夫が見られる。枠に限りのある補助金ではあるが、効率的な活動を行うことで、コストパフォーマンス的にもよい影響が出ている。団体の中には、独自に100の事業者から協賛を得るなど、参加者数、動員数も市民公益活動としては非常に充実した活動につながっている。

また一方、わずかな力で、地道な活動を丁寧にしてきた団体の存在も重要である。車椅子の充足状況を把握してまとめ、提案に結び付け、さらに一工夫を加えたことも重要である。

具体的な活動状況では、PR活動でも、チラシのみに頼るのではなく、ローラー作戦などの地道な活動や揃いのジャンパーを着た目立つ活動などにより充実した参加者数へとつながっていることから、その重要性を認識されたい。

### 3) 協働事業部門

協働事業部門では、市民提案コースと行政提案コースの2コースの設定があった。

成果報告の内容と方法について、要点を押さえた明確な報告となっている団体と、実際の活動内容が、分かりにくい団体があったのは否めない。また、協働による事業実施という観点から、市民活動団体と行政が連携を密にし、実施するように努力する必要がある。

実績報告書については、お互いの主張と内容が食い違わないように意思を統一したうえで、報告書作成などの事務的な作業には行政側が一端を担ってもよいと言える。

事業の実施では、市民団体が主で実施している場合と、担当課が事業の方向性を示したうえで、団体が実施する場合と、両側面の事業が見られたため、偏りの起こらないように、うまく連携を取ることも必要である。団体の特異性から活動内容によっては、活動終了後、団体の中で中心となった活動者が疲弊しないように、担当課がある一定の助言も含めた配慮を行う必要もある。

また、今回の東北地方を中心とした地震が原因で中止となった事業が1件あった。天災とは言え、準備を進めてきた団体、担当課にとっては心残りであったと思われる。準備の過程で得られた成果や実績を今後の活動につなげていただきたい。

【審査結果および個別講評】

創業期活動部門（めばえコース）

評価	B
事業名	託児付きスクラップブックング講習
提案団体	岡山スクラップブックングクラブ
事業概要	子育て中の保護者を対象に、市内公共施設等でスクラップブックング教室を開催する。作品発表や交流の時間を設け、お母さんの新しい息抜きの手段を提供する。
講評	<p>スクラップブックング教室の実施状況が詳細に整理されており、計画に沿って着実に取り組みを進めてきた様子が伝わってくる。全17回にわたって実施され、参加者数も多く、費用対効果が高い。</p> <p>また、保護者同士の交流に加えて、託児された多くの子どもたちが遊びなどを通して社会性を学ぶよい機会となっていることも評価できる。</p> <p>一方で、スクラップブックングという趣味的要素の強さから、公益性に少し疑問を感じるとの意見があったことも付記しておきたい。</p>

評価	B
事業名	くらしき多文化共生まちづくり推進事業
提案団体	多文化共生まちづくり倉敷の会
事業概要	在住外国人が快適に生活できるように、防災研修会の実施、倉敷国際ふれあい大運動会への参画、研修会を主催する。
講評	<p>倉敷の地に多文化が共生し、ともに住みよいまちづくりを目指すことは重要なことと言える。また、企画や実施内容は、大変意義深く、意味のあるものであったと考える。</p> <p>今回の活動が、発展性・普及性のある事業だけに、単年で終了せず、地域に根付いた活動になっていくことを期待する。また、催事については、参加者数に偏りがあるようにも感じられる。事前に地域の関係者、関係部署、メディア、インターネットなど、できる限りの手段を用いて、開催を周知するために、PR活動などの工夫が望まれる。</p>

評価	B
事業名	こどもが行う理科工作を支援する
提案団体	こどもが行う理科工作を支援する会
事業概要	子どもの科学技術に対する興味関心を育てるため、小学5年生・6年生を対象に、夏休み中に4回、発電機作成・電子オルゴール作成等の理科工作実験を行う。
講評	<p>子どもたちの「理科離れ」が深刻な課題となっている現在、幼少時から理科に親しむ機会を持つことの重要性を踏まえた事業として評価できる。</p> <p>理科工作教室を夏休みに行くことは、日程的に適切であったと考えられる。今後は、①学年を現在の5・6年生から低学年まで幅を広げる、②地区の小学校との連携を深める、③地域を拡大して活動エリアを拡大するなどして、参加者を増やすとともに、活動のさらなる充実を期待したい。なお、少額でも参加費を徴収してはどうかとの意見が見られた。</p>

評価	B
事業名	就労継続支援A型 よろこびの庭 利用者の職場環境改善
提案団体	特定非営利活動法人 よろこび
事業概要	作業所の利用者増員のため、備品整理用ロッカーを設置し、利用者が気持ちよく通える環境を整える。
講評	<p>ロッカーの設置を通しての職場環境を整えることは、重要なことであると言える。しかし、補助金をすべて備品の購入費に費やすのではなく、どのように事業や活動につながったかの報告も望まれた。</p> <p>さらに活動を広げることを検討する場合、就労継続支援に直接関わる関係者のみの利益享受に終わるのではなく、一般市民の参加に結びつくような活動を視野に入れる工夫などが望まれる。</p>

公益的自主事業部門（はばたきコース）

評価	A
事業名	倉敷川再生活動—生命あふれる清流に—
提案団体	蔵おこし湧々
事業概要	倉敷川舟下り調査, 親子で入ろう倉敷川クリーン&ウォッチング, 水辺のコンサート等の取り組み, 倉敷川の清掃活動により, 川と人との絆づくり, 川とともに暮らしがある魅力的なまちづくりを支援する。
講評	<p>水辺の環境改善について, 市民活動の一環において, 魅力的な街づくり活動への企画運営は, 意味があると考ええる。</p> <p>活動回数や, 活動内容, 参加人数も充実しており, 毎回の催事ごとに, 一定内容で一定人数は確保されていた。今年度の事業に至る過程で, 長年の実績があり, 地元市民に密着した活動になっていると言える。ただ, 水質調査や「えひめ AI-2」作成など, 活動内容によっては, 参加者に偏りがあるとも考える。倉敷の水辺の実態を知っていただくためにも, 多くの活動, また地道な活動も含めて, 市民を募集して活動の輪を広げていくことを, さらに期待する。</p>

評価	A
事業名	「環境最先端学区」実現事業
提案団体	マリリン児島地区社会福祉協議会
事業概要	①コスモスの花いっぱい運動②ゴミ減量運動③省エネ運動④水質浄化運動を通し, 地域を挙げて環境改善に取り組み, 「STOP温暖化児島小学校区」をメインテーマに, 環境最先端の学区を目指す。
講評	<p>環境改善の取り組みで, 非常に多岐にわたる内容の事業を進行達成できていると考ええる。実施内容の具体についても, 花を植え, 育てる。ごみも減量する。省エネや水質浄化にも地域の視点を拡大させるなど充実している。「花の風あいさつロード」というネーミングも PR しやすく, 地域の住民の思いを一つにすることを促進しているとも言える。</p> <p>コスモスやマリーゴールドなど水やりや草取りを含め, 興味をひきやすい活動であり, 色とりどりの花できれいに整備されたロードを皆でウォーキングするのも楽しい活動である。コスモス委員の募集や, コスモスの花びらコンテストなどユニークなイベントを実施しており, 住民も楽しみながら, 地区社協との連携を深められたのではないかと考える。</p>

評価	B
事業名	「X'masイルミネーション in 水島」開催
提案団体	水島を元気にする会
事業概要	水島地区に巨大クリスマスツリーを出現させ、歌や踊りのステージ、地元の方々の出店、バザー、ゲーム等、子どもたちにはサンタからのプレゼントを配り、楽しい催しで楽しく住みよい元気のある町づくりに取り組む。
講評	<p>水島地域の活性化のための大きな輪となり、今後にも大いに期待が持てる点を評価したい。ボランティアや企業の貢献により成り立っている面も多く、盛況なイベントとして成功を収めている。</p> <p>認知度が高まっている事業であるので、この賑わいと活気を地域に根ざした活動として、日常からの多様な展開を期待する。また、子どもたちが地域に誇りを持てるイベントに育てていただきたい。</p> <p>今後は、参加者に対する満足度調査などを行い、さらなる改善・充実を図ることを期待する。なお、期間が短く、さらに、大きなイベントが1日のみであることが課題であるとか、賞品に係る経費の比率がやや高いとの意見も見られた。</p>

評価	B
事業名	公共施設に設置の車椅子の清掃
提案団体	特定非営利活動法人 身障スマイル
事業概要	公共施設には、車椅子が設置されているが、清掃されていないので汚いままになっている。きれいにすることで、車椅子利用者に気持ちよく利用してもらおう。
講評	<p>公共施設にある車椅子の清掃に、団体活動として着手された点を評価する。</p> <p>活動回数も充実した回数を設定されていたと言える。ただ、車椅子清掃について、清掃活動のみに終始している感が否めない。市からの補助金を元に運営している活動であるので、清掃活動が一般市民や小中学生、ボランティアを巻き込んだ輪となる活動へと進められることを期待する。</p> <p>清掃活動中に、車椅子の故障や不具合などにも遭遇されたと報告があったが、清掃・修理にとどまらず、事前の点検へとつなげてゆくことで、利用者にとって安全で快適な車椅子となるなど、さらに活動が充実したものと考ええる。</p>



評価	B
事業名	「不登校児童,生徒及びその保護者を支える為の研修講座」開催事業
提案団体	倉敷不登校ネットワーク
事業概要	不登校児童・生徒,発達障がい理解の深い講師を招き,不登校児童,生徒とその保護者を支えるための研修を行う。支える側のかかわりの大切さを理解してもらい,児童・生徒の「生きる力」を支援する。
講評	<p>難しい問題に身近な立場でサポートしてくれる大切な事業である。研修講座に対する満足度アンケートで点検評価を実施し,改善に向けて取り組んでいる姿勢を評価する。根気のいる事業であるが,今回の実績を踏まえて,ますます充実した内容になることを期待する。</p> <p>今後とも,他の団体等や学校とダイレクトに連携した取り組みに発展させていただきたい。また,親の会やサロンなども組み合わせながらの展開が望まれる。さらに,研修講座の形態として,対話型,ワークショップ型の実践的なプログラムも検討されたい。開催の回数が3回であったが,少しずつ増やしていくことも併せて検討されたい。</p>

協働事業部門

評価	A
事業名	乳がん撲滅キャンペーン！！と乳がん術後のケア！！
提案団体	QOL” 輪唱” 岡山 テイクハート
事業概要	昨年、一昨年に引続き、地域などのイベントに参画して、乳がんの正しい知識と早期発見のためにマンモグラフィおよび自己検診の重要性についての講話を通じて、地域に密着した普及活動を行う。体験者による術前・術後の精神面および日常生活のサポートの大切さを知ってもらうとともに、必要な人にはサポートを行う。
講評	<p>毎年手法を考え、告知に力を入れた点を評価する。団体本来の活動においても、ぜひ協働を進めていただきたい。また、非常に公益性の高い意義深い事業内容であり、計画的に実施、進行され、一定の成果が見られる。実施記録が丁寧に作成されており、活動内容についての理解がより深まる。数値に裏付けられた効果が表れており、今後の自主活動にも期待できる。</p> <p>担当課との連携・協働により、活動が軌道に乗りステップアップして、団体として成長しているように感じる。逆に今年度は、活動が過多に偏ったとも考えられる。</p>

評価	A	継続の可否	可
事業名	親育ち子育て ハッピーサポート事業		
提案団体	特定非営利活動法人 ていーたいむ		
事業概要	高機能広汎性発達障がいを持つ小学生から18歳までの市民に、先進的な手法でサポートする事業を行う。取り組みを関係機関等に情報提供し、本人の自立、家族、社会の理解を促す。		
23年度	事業費	1,798,000円	補助額 500,000円
講評	<p>時代が求めるタイムリーな企画であり、障がいを持つ親の立場からさまざまなサポートをしていく提案は重要であり、活動の輪が広がりつつあることを評価する。参加者が多く、アンケート結果からも参加者の満足度も高いことが理解できる。事業計画自体も綿密に策定されており、支援の必要性を感じる。団体の特性も活かされており、大学、行政との協働も評価できる。メルマガによる効果的、効率的な情報発信ができています。検討課題としては、次のような意見が見られた。重度～軽度の子どもに対して、個に応じたどのように対応すべきなのか。SNSなどにより、参加者の地理的問題の低減を図り、同じ問題を抱えた人々のつながりのネットワーク化を検討されたい。</p> <p><b>【継続の必要性】</b>: 共生の根幹を成す取り組みであり、本人と保護者、学校関係者、地域の理解が必要であると考え。成果が現れている段階なので継続して対応すべき課題であると考え。</p> <p><b>【継続の条件・要望】</b>: 本事業は行政の通常業務として取り組むべきであると考え。23年度の取り組みの中で、これをモデルに担当部署で制度化できるかどうかを検討していただきたい。他団体との連携に向けての努力も望まれる。</p>		

評価	B	継続の可否	可
事業名	『着物でぶらり！笑顔でパチリ！！ようこそ、倉敷へ』プロジェクト		
提案団体	『着物でぶらり！笑顔でパチリ！！ようこそ、倉敷へ』プロジェクト		
事業概要	市民参加型で心のこもった「倉敷らしさ」をアピールする。手軽に着れる着物の試着や、四季ごとに開催する和 문화体験セミナーを通して倉敷の個性と魅力を活かした地域活性化を図る。		
23年度	事業費	550,000円	補助額 330,000円
講評	<p>和文化を観光客・市民に広めていく活動であり、「倉敷」のブランドづくりや観光振興に貢献する点で今後の展開に期待する。これまでの成果や課題を踏まえて、23年度は新たな企画が追加提案されている点も評価できる。今後は、広報やPR、その他参加しやすい場所や時間などの工夫が求められよう。観光客の参加が多くを占めているが、市民の参加を増やすような工夫も望まれる。</p> <p>【継続の必要性】:倉敷は観光のまちであることから、重点的な取り組みとして、行政との連携を一層深めて、息の長い活動になるよう工夫されたい。そして、日常的な活動として定着することを期待する。</p> <p>【継続の条件・要望】:次のような点に注意されたい。</p> <p>1)他団体とのつながりを期待する。2)商店・行政機関職員などの着物着用・商店への協力の取り付けを望む。3)パネル展を開催してはどうか。4)セミプロのカメラマンは不要ではなかろうか。5)セミナーへの参加者を増やす工夫をしていただきたい6)宿泊につなげられるような工夫に期待する。</p>		

評価	B	継続の可否	可
事業名	倉敷の水源・酒津からホタル復活プロジェクト		
提案団体	酒津のホタルを親しむ会		
事業概要	<p>・ホタル幼虫飼育の継続</p> <p>・昨年建設したビオトープ内で得られた実験結果を元に、農業用水路におけるホタル幼虫の上陸実験。</p>		
23年度	事業費	295,000円	補助額 70,000円
講評	<p>倉敷の水源、環境問題を考えるうえで、ホタルをテーマに様々な活動を企画運営されたことは、分かりやすく、評価できる。ホタルプロジェクトとしての活動では、水生生物の観察会やヘイケボタル救出プロジェクトなど企画内容も一般参加者の興味を引く内容となっている。イベントの企画回数も充実しているが、参加人数が、回によって、まちまちである。</p> <p>【継続の必要性】:小中学生の参加も1回のトピック的な参加で終わるのではなく、ホタルの観察やビオトープの管理、ホタルの救出など、一連の活動への参加を通しての学びへとつながるような企画に発展されることを期待する。</p> <p>【継続の条件・要望】:水源や川の環境保全としての取り組みでは、同様の理念のもとに活動している他団体との連携強化も視野に入れていただきたい。</p>		

評価	B	継続の可否	可
事業名	しょうがい者と地域の和やかなふれあい事業		
提案団体	特定非営利活動法人 いちご一会		
事業概要	障がい者・高齢者が地域に受け入れられ、自分らしく生きる生活術を身につける体験活動を行う。①地域の方との交流②本人に対する生活支援③就労の準備を支援④家族への支援を行う。		
23年度	事業費	582,000円	補助額 436,000円
講評	<p>趣旨は非常に大切に、居場所として機能している反面、想いと実行能力のバランスが取れていない活動が一部見られる。延べの参加者数は多いが、1回1回が少ないのが残念である。事業の成果をより多くの市民に知ってもらうための工夫も求められる。多種多様な事業を展開しているが、効果を検証して、活動内容の精選化と重点化を図る必要がある。</p> <p>【継続の必要性】:趣旨と役割は大切なので、事業を継続し発展・充実させていくための様々な角度からの支援が求められる。今回も多くの成果が見られるので、ぜひ続けていただきたい。活動内容と回数などを見直し、地域の人々の理解を得て、参加しやすい企画にすることも検討されたい。</p> <p>【継続の条件・要望】:マネジメントの部分で専門家の助力をいただくなど、運営の改善をすることを検討されたい。また、スタッフ不足解消のためのPRを行っていただきたい。若い世代の参加を期待するとともに、スタッフ、協力者を増やす工夫をされたい。活動が多く、自立できるプログラムかどうか分からないため、活動内容の見直しをされたい。</p>		

評価	B
事業名	三島中洲の資料情報の収集と台帳化
提案団体	中島学区郷土を学ぶ会
事業概要	倉敷市内の文人墨客の一人である三島中洲の偉業を知るとともに、その研究を進めるにあたっての基礎資料の整理を進める。将来予定する研究については、東京・二松学舎大学と協力し、相互に資料と研究データを交換する。それだけでなく、三島中洲顕彰活動の方向や、まちづくりの材料にもつなげる。
講評	<p>地元の宝とも言える偉人に学ぶことにより、地域を知り、地域に関心を持つことへの一助になると思われる点を、大いに評価する。今後は、認知度の向上をめざしてPRにも力を入れて、さらなる展開を期待する。ただし、活動としては興味深いのが、そこまでニーズが高いのかどうか確認が求められる。</p> <p>本事業は3年目であるが、この提案をきっかけに担当部署が、行政の取り組みとして新たに制度化したことは非常に意義深く評価する。これによって本事業の一部については引き続き、市との協働も可能となった。</p>

評価	B	継続の可否	可
事業名	倉敷観光キャラバン隊		
提案団体	倉敷の踊り振興会		
事業概要	観光客も年々減少の傾向をたどっているため、元気のある明るい倉敷(町おこし)を作るため、白壁の町に似合う着物を着て暖かいもてなしの心で道案内をする。又外国の方がこられると、日本伝統文化のお茶を体験をしていただき、帰られた時に、倉敷での楽しかった事を伝えていただき、リピート客を増やし美観地区や駅周辺の活性化になる様な思いで実施する。		
23年度	事業費	76,000円	補助額 19,000円
講評	<p>観光キャラバン隊として、たすきを揃えてのPR活動は、観光客へのPRとしては非常にインパクトがあり、分かりやすい。日本の和の心で、おもてなしをするというのは、ユニークであり、倉敷美観地区とイメージが結び付きやすく評価できる。活動内容は、分かりやすく、予算も検討しながら、最大限の効果を得る努力の跡が感じられた。</p> <p>【継続の必要性】:今後の活動の方向性として、観光キャラバン隊ということであれば、活動の拠点をあまり広げない方向で、例えば美観地区を中心に活動をするという、継続性を重要視していただくことが大切となる。</p> <p>【継続の条件・要望】:類似あるいは同様の理念で活動する他団体との連携強化や、活動参加を、一般市民から募るなど検討されたい。</p>		

評価	B
事業名	たんぼぼの花を咲かそう・パートⅡ
提案団体	特定非営利活動法人 倉敷子育てネットワーク・たんぼぼファミリー
事業概要	男性の育児への参加を促すため、小学生以下の子どもを持つ男性の料理教室を行う。父親の仕事のストレスや母親の育児ストレスを解消し、健康的な家族関係を構築するため、健康体操、健康イベントを行う。
講評	<p>男性の育児への参加を促すことは、家庭の中で家族みんなが協力し合って、子育てをするという空気を作り出し、家族全員参加型の楽しい育児へとつながると考える。</p> <p>お父さんの料理教室や、夫婦で取り組む健康体操など、事業内容は工夫されていたと考える。今後の課題として、懸念されることは、「男性の育児への参加」を謳い文句にした場合、基礎知識などの講座が、直接、育児とは結び付きにくいようにも感じられる。実際の参加者の意見やアンケートなどを集計することにより、今後につながる意義深い企画へと成長するとも考えられるので、是非、参加者の声を反映させる機会を作って、今後の活動へとつなげていただきたい。</p>

評価	B
事業名	竹林音楽祭
提案団体	エコプロジェクト事業推進委員会
事業概要	<p>箭田地区内の竹林で、竹を材料とした楽器等の演奏による音楽祭を行う。</p> <p>整備された緑の竹林の美しさを鑑賞していただくため、ライトアップ、竹キャンドル、竹のオブジェによる演出を行う。</p>
講評	<p>地域を設定したうえでのその地区の発展に寄与する取り組みとしては、竹林を生かした音楽祭は、継続性・発展性という点から今後の期待を含めて、評価できる。</p> <p>提案団体としての事業の方向性は定まっているように感じられる。しかし、地区における竹林の認知性や音楽との融合の意味合いを、1日だけのユニークな企画で終わらせるのではなく、地域を盛り上げる活動の一貫性を持たせたうえで、PR活動や竹林の認知度向上へ向けた事前の活動など、独自の取り組みが見えると、さらに効果的であったと考える。</p> <p>エコの発想から、竹水製品や竹の子などの販売も地域貢献に一定の意味があったと言える。継続性と地域におけるエコ活動という観点から、音楽祭を竹林で展開させる意味をさらに持たせた活動へと充実させていきたいと考える。</p>